

災害時の入浴の問題を きちんと考えてみませんか？

災害対策用組立式温水シャワーシステム

「エンカレッジ®」



▲使用中の「エンカレッジ®」



「エンカレッジ®」 II型（2室用）▶

避難所生活に安心と清潔な環境を提案します。

現地にお伺いいたします。

コインシャワー一筋45年、経験と実績を
積み上げてきました。

〈販売店〉

 **アイテイシー株式会社**

〒920-1161

石川県金沢市鈴見台5-3-12

TEL 076-254-5072

FAX 076-254-5073

E-mail: itc-japan@nifty.com

<http://itc-tech.sakura.ne.jp>



〈製造元〉



株式会社 タニモト

〒561-0842

大阪府豊中市今在家町13-12

TEL 06-6863-5666

FAX 06-6866-1335

E-mail: info@shower.co.jp



**大規模災害時の避難所での生活や復旧・復興支援者の方への入浴施設は欠かせません。
災害時に身体的・精神的健康を維持するための入浴施設は必須のインフラです。**

「エンカレッジ®」はコインシャワーのパイオニア（株）タニモトが60年の技術の集積の元に開発した商品です。新潟中越地震（2004）、東日本大震災（2011）、熊本地震（2016）、西日本豪雨（2018）、能登半島地震（2024）をはじめとして沖縄サミット（2007）や東京パラリンピック（2020）などのイベントでも活躍してきました。

「エンカレッジ®」は以下の特長をあわせ持っています。

1. 軽量です。（災害時にはクルマが使えないことを前提に、2～3人で現場に持ち運べる重量と収納形状にしました。）



2. 組み立てが簡単です。（組立・設置には工具を使用しません。）



3. 管理者不要です。（メダル方式で全てを管理します。）



4. 最小の備蓄スペースです。



← 使用時の約3分の1の体積で
備蓄ができます。

（写真はII型になります。）

コーナーパネル



5.これまでの災害時にも活躍しました。

設置例



総務省消防庁の 災害支援対策車積載品に ENCOURAGE- I 型が採用！

総務省消防庁に配備された【拠点機能形成車両】特殊車に、小型発電機・浄水器・大型炊飯器・簡易トイレ・給湯器・大型エアーテント等に加えて、当社 ENCOURAGE (エンカレッジ) も積載されています。



阪神淡路大震災（神戸市避難所）
ログハウスに組み込んだシャワー室
3室設置



新潟県中越地震、民家の井戸水を
を利用して設置



新潟県中越地震、川口村に小川の水を
汲上げて設置



東日本大震災
II型を3台設置



東日本大震災、ピースポート災害ボランティアセンター石巻の
空きスペースに5台10室設置



熊本地震、熊本刑務所で採用



熊本地震、益城町保健福祉センター
はぴねすに設置



熊本地震、益城町での利用中の様子

6. 多くの人が利用できます。(1室・1日で最大100人近くが利用できます。)

設置例



西日本豪雨、倉敷市の
ボランティアセンターに設置



西日本豪雨、真備町岡田小学校の
体育館横にⅡ型を2台設置



能登半島地震
七尾市山王小学校に日本赤十字社が
弊社シャワーを設置



能登半島地震 福祉の杜わじま
小川の水を利用して設置



能登半島地震
七尾市小丸山小学校体育館に
Ⅲ型（車いす対応型）を設置



能登半島地震
小丸山小学校プール



能登半島地震 福祉の杜わじま
建物の裏側にⅡ型を2台設置



能登半島地震
輪島中学校・Ⅰ型、Ⅱ型、Ⅲ型を設置



能登半島地震
珠洲市上戸保育園・Ⅱ型を設置

7. 燃料は灯油です。(安価で、ガソリンスタンドで入手できます)

8. シャワールームとボイラーの仕様

- ・ シャワールームⅠ型 (収納時) : H/670mmX W/945mmX D/1515mm
(使用時) : H/2010mmX W/945mmX D/1545mm
- ・ ボイラー : H/700mmX W/655mmX D/531mm
重量/48kg、灯油タンク/18リットル、
水道直結方式、瞬間直圧式灯油焚き、40000Kcal/h

〈組立設置時の順序とご注意〉

A. シャワールームの組立

1. 収納ケースを開け、内部にある各パーツをいったん外に出して組立準備をしてください。
2. 一番最初に床部分を設置してください。床がぐらつかないようにブロックや木材等で高さ調整をしてください。
3. 各パーツの色シールを目安にそれぞれの壁材をはめ合わせながら作業を進めてください。
※仮止め用ガムテープで各壁材が倒れないように貼り合わせてください。
4. コーナーパネル部分をシャワールームのコーナー壁材に引っ掛けで固定してください。
5. 最後に屋根部分を壁材の上部に置き、壁材の溝と屋根材の溝をはめ合わせてください。
※屋根材は「前」と「後」がありますので間違えないようにしてください。
6. シャワールームの両外側の横面上下をターンバックルを使って固定してください。

B. シャワールームとボイラーシステムの接続

1. 給水ホースを水道蛇口とボイラーの吸水口につなぎます。
※水道の圧力が不足するときは汲み上げポンプを使用してください。
(汲み上げポンプはオプションで用意いたします。)
2. 給湯ホースをボイラーとシャワールーム側に接続させてください。
3. シャワールームの裏下側にある排水口に排水ホースを接続し排水溝にしっかりとはめこんでください。
4. ボイラーの灯油タンク（18㍑）に灯油を入れてください。
※1人の実質使用時間を5分とすれば約60人が利用できます。空焚き防止のため灯油計が半分を切ったら給油することをお奨めします。
5. 電気をコンセントからボイラーに接続してください。
6. 試運転はボーラー側の電源を「ON」 ⇄ 「OFF」にして行ってください。

〈解体時の順序とご注意〉

C. シャワールームとボイラーの切り離し

1. まず最初に電源を「OFF」にしてください。
2. 余分な灯油は灯油缶に戻してください。
3. この後の作業は上記Bの「シャワールームとボイラーシステムの接続」の逆の順序で切り離し作業を進めてください。

D. シャワールームの解体・収納

1. 上記Aの「シャワールームの組立」と逆の順序で解体し、いったん収納ケースに入れてください。
2. 次回の使用のために各壁材やパーツを洗浄し乾燥させて保管してください。